

字幕付きCM 実施企業に聞く

#1 ライオン



ライオン株式会社
ビジネス開発センター クリエイティブデザイン
宮城 英明様

1 字幕付きCMに取り組み始めた時期

2010年11月フジテレビ「ごきげんよう」

2 字幕付きCMに取り組んだきっかけ

きっかけは、2010年3月パナソニックさんの国内初のオープンキャプションによるCMトライアル放送が実施され、同年6月にはクローズドキャプションが可能となり、事前検証等でCM字幕化のニーズが確認されたことです。

3 字幕付きCMを制作して感じたこと、考えたこと

取り組みを始めた頃は、CMへの字幕付与は経験がなく手探り状態でした。トライアル直後に聴覚障がい者からの感謝の声がお客様相談室に届けられ、少ない数ではありましたが、活動の意義を強く感じました。その声に押され、継続するチカラが得られたと思っております。

4 字幕付きCMの今後の取り組みに対して考えること

弊社は、オンエアCMすべての字幕化を目標にしています。今後、2022年10月(全国系列局での全枠字幕付きCM対応の見込み)に向けて、字幕が必要とされている方々に、より伝わる字幕付与を目指し、スキル向上に努めて参りたいと考えます。

5 字幕付きCMをこれから始める広告主企業の方々へ一言

国内では、音が聞こえにくいと感じられる高齢者がますます多くなると予想されます。したがって、これまで以上に字幕CMのニーズが高まるのは必至です。多くの参画企業の方々と活動を広げることで、CMの価値向上に繋がれば幸いです。

字幕付きCMを実施しているJAA会員社(※2020年10月以降)

- アサヒ飲料 ●味の素 ●花王 ●キャノンマーケティングジャパン ●クボタ ●資生堂ジャパン
- 大和ハウス工業 ●東京海上日動火災保険 ●東芝 ●東レ ●日清食品ホールディングス
- 日本たばこ産業 ●パナソニック ●三井不動産 ●ライオン (社名五十音順)

※ご確認の取れた会員社の皆さまを掲載しております。すでに実施している、または新たに実施を始めた会員社の皆さまは、JAA事務局(jaa-info@jaa.or.jp)までご連絡をいただけますと幸いです。